

2014 年度 JETAA 大韓民国支部活動報告 ～「第 10 回日韓交流スピーチ大会」～

ソウル事務所

JETAA 大韓民国支部（以下「JETAA 韓国」）は、JET プログラムの韓国人元参加者たちにより構成された韓国で唯一の親睦団体です。韓国からの JET プログラム参加は 1993 年に始まり、今年度で 22 年目を迎えましたが、その参加者のほとんどが JETAA 韓国に登録しており、会員数は現在 300 名を超えています。

JETAA 韓国の一年間

JETAA 韓国は一年を通してさまざまな活動を行っています。韓国に帰国したばかりの元 JET 参加者を迎える「帰国者歓迎会」及び年間の活動を確認する「総会」には始まり、専門家の講義や在韓日系企業関係者等と交流を深める「キャリアアップ交流会」や JET プログラム参加希望者にプログラムの概要や自身の経験を紹介する「JET プログラム説明会」、JETAA と JET プログラム関係者が一堂に会し交流を深める「ホームカミングデー」などを開催しています。また、年度末には新規 JET 参加者を日本へ送り出すオリエンテーションへの支援も行います。

表 1 JETAA 韓国の一年間の活動（2014 年度）

4 月	帰国者歓迎会及び総会開催
6 月	キャリアアップ交流会開催
8 月	JET プログラム説明会開催
9 月	日韓交流おまつり出展
11 月	日韓交流スピーチ大会開催
12 月	JET 韓国人参加者研修会への講師派遣
1 月	ホームカミングデー開催
3 月	新規 JET オリエンテーション支援

表 1 はソウル事務所が関わっている JETAA 韓国の活動であり、他にも、在韓日本大使館や韓国日系団体のイベント等への協力も行うなど、その活動は多岐にわたります。

第 10 回日韓交流スピーチ大会

JETAA 韓国の年間の活動の中でも最も大きい行事が「日韓交流スピーチ大会」です。日韓交流スピーチ大会は 2006 年から始まり、今回、記念すべき 10 回目を迎えました。参加者に制限はなく、日本語を母語にする方は韓国語で、韓国語を母語とする方は日本語で、日本もしくは韓国についての自身の思いや体験等をスピーチし、両国の相互理解を深めることを目的に開催されています。



「第 10 回日韓交流スピーチ大会」会場の様子

今回は 134 名からの応募があり、うち 20 名が予選を通過して観客の前でスピーチを披露しました。このスピーチ大会では、スピーチの流暢さだけでなく、その内容や説得力、



最優秀賞を受賞したハン・スンホさんと元香川県 CIR のキム・セヒョン JETAA 韓国会長

日韓交流に対する関心度も審査基準となっており、大会出場者は、衣装や小道具などそれぞれに工夫を凝らしてスピーチを披露してくれました。その中で、最優秀賞に輝いたのが警察官の衣装で登場したハン・スンホさんです。韓国の成人男性は約 2 年の兵役義務がありますが、徴兵後に警察の機動隊に配属されたハンさんは、現在大学を休学して在韓日本大使館の警備に当たっています。日本大使館の警備を通じて感じた職務への誇り、そして、

日韓交流への思いを流暢な日本語で披露し、会場を温かい感動で包んでくれました。

第 10 回日韓交流スピーチ大会は例年以上に大きな注目を集め、韓国のニュースなどでも紹介されました。特に、最優秀賞を受賞したハンさんのスピーチへの反響は大きく、他のイベントで紹介したいなど日本からも問い合わせがあったほどです。

日韓交流の架け橋として

日韓交流スピーチ大会は、JETAA 韓国、在韓日本大使館、ソウル事務所が共催していますが、その運営や進行は JETAA 韓国が中心となります。帰国した元 JET 参加者たちは、仕事や家庭、学業と両立させながら JETAA 活動に参加します。準備に関われなかった会員たちも、大会当日に司会や会場案内などを手伝います。また、今回は会員が経営している会社から副賞を提供してもらうというサプライズもありました。

JETAA 韓国の努力で作り上げられるこの大会は、JET プログラムを終了しても日韓交流の架け橋としてあり続けていたいという JETAA 韓国の強い思いを表しており、日韓草の根交流に欠かせない行事として着実に根付いています。

(菊田所長補佐 福島県派遣)